

第 44 回つるみね公民館まつり 第 6 回実行委員会議事録

日時 : 令和 8 年 3 月 21 日 (土) 13:30~15:10

場所 : 鶴嶺公民館 講義室

出席者: 実行委員 14 名、公民館職員 公民館長及び 4 名
書記

配布資料 ①第 44 回つるみね公民館まつり 第 6 回実行委員会次第

② ” 決算報告書

③ ” 第 5 回実行委員会議事録

議題 1 会計報告

- ・(質問) 子どもまつり囃子の子どもたちへのお礼は何にしたのか →お茶菓子

◇別紙のとおり収入と支出について会計から説明があり、監査の結果相違ないことが確認され、本会議で了承された。

議題 2 まつりの反省点について(部会に分かれて)

(1) 展示体験部会

- ・昨年までの幅広で重たいパネルを使用しなかったのが、運搬がスムーズで、外部からの手伝いを借りなくても大丈夫だった。
- ・1 階のパネルの数が減り作業が楽だった。ロビーのテーブル側の展示は、常に混雑していて絵を見てもらえず残念だった。絵の前にスペースを空けるか、作品を置くべきではなかったか。(デッサングループアミーゴ)
- ・黒板に白布を掛けてマグネット固定の予定であったが、パネルが 2 枚使えたので展示作業が楽だった。(小出川に親しむ会)
- ・土、日ともに 33 名前後の参加者があった。1 階の催物が終わると 2 階に人が集まると期待したが、昨年のような 2 階和室の子ども向けの催しが無かったせいか 2 階に人が流れなかった。2 階へ足を運んでもらう工夫が必要。(鶴嶺てんこく会)
- ・天候に恵まれ、来場者数は昨年に比べ多かったのでは。公園の方も人出が多かった。(鶴嶺写真クラブ)
- ・日曜午後企画の歴史講座が盛況で、フィナーレまで客足が途絶えなかった。公園の子どもの広場で参加者に配ったお菓子も 201 名分で多くの子どもたちが集まっていた。(加藤)
- ・両日ともに昨年の 2 倍近い参加者があった。始まりの 9 時前から待っていた子供たちもあり、名刺作りが子どもに定着してきていると感じた。参加以来初めて赤字が解消された。(パソコンクラブ)
- ・一部屋を単独で使用させてもらったので、展示パネルもいいレイアウトができた。(泉会)

(2) 催物発表部会

- ・控室が 1 階になったので、進行確認がしやすかった。
- ・ステージが黒板側だったため、前の団体の発表が観られなかった。
- ・催物は 6 団体で、出演団体が年々減少しているので増やしたい。公募を募るポスターを公民館に掲示してはどうか。

- ・催物出演団体の中で不公平感を無くするため、全出演団体会議に出席するようにしてほしい。

(3) 模擬店部会

- ・テント間の距離が前年より広がったのは良かった。
- ・お客様が座れる席が少なかった。お囃子が終わったあと場所を提供したが、告知しなかったためか利用者はあまりいなかった。
- ・土曜日は人出が少なかった。日曜日は販売数を増やしたので前年より終了が遅かった。
- ・10時開始でPRから始めたので盛り上がりが足りなかった。開始前から早めに何回か館内放送で公園の模擬店6か所と館内のコーヒー販売のPRを流してほしい。ゴミは買った場所へ戻してくださいというお知らせもしてほしい。
- ・模擬店で実習室を使った団体から、「物品の戻し方がわからなかった」という意見があった。次回はわかるように準備しておきたい。(館長)
- ・矢畑南が残って重たい物を手伝ってくれたので、片付けが迅速に終了した。

議題3 まつりの反省点について(全体)

- ・例年の役職決めの時、代理なので勝手に役職は受けられないという団体があるが、初回の実行委員会には、時間短縮のためにも決定権のある人が出席してほしい。
- ・どうしても1回目の実行委員会に時間がかかる。役職の輪番制を提案
- ・東側駐車場の自転車整理の時に、「入り口はどこですか」との質問が多かった。誘導する矢印や案内板を置くとよいのでは。
- ・萩園第三公園の駐輪場入口の段差で、お年寄りが苦勞して自転車を持ち上げていた。スロープが無理なら、スムーズに歩道に誘導する工夫が必要
- ・2日目東側駐車場の駐輪担当が急遽第三公園に変更されたが、事前に連絡がほしい。
- ・参加型・体験型の催事が増えた方が来場者は喜ぶと思う。まつりに参加した満足感がある。
- ・2階への来場者が少ない。2階の展示紹介の館内放送をお願いしたい。
- ・玄関入って正面の支援学校の展示の飾り付けがなかった。→館の不手際でした。来年は支援学校だけでなく新たに小学校などの支援学級にも声掛けしたい。(館長)
- ・毎回実行委員会前に資料が送付されてきたが、印刷・封筒詰めなどの手間と金銭的な問題もあると思うので、メールで受け取れる方にはメールへ移行を提案。→まつりへの参加申し込みの際に、資料の受け取り方法を各団体に確認するような仕組みにする。(山下)
- ・最初のまつり参加申し込みをonline(インターネット)にしてはどうか。
- ・事前の資料配布が良かった。サークル内で課題を話し合えたので、代理が出席しても対処できた。また会議の時間短縮にもつながったと思う。

議題4 次年度に向けて

(1) 日程案の検討

①時間

- ・9時開始では準備があわただしい。16時以降はほとんどお客様がいない。他館は10時～15時が多く、早くとも9時半開始が適切かと思う。
- ・模擬店のピークは10時～13時。
- ・オープニングが9時半なのにパソコンの名刺作りが9時からなのはおかしい。次年度からは

- ・オープニングと体験やその他の時間を統一する。
- ・2日目は片付けがあるので早めの終了を希望する。
- 時間設定は事務局で検討する。(館長)

②日程

来年度の候補日 … 第1案：2月20日(土)・2月21日(日)

第2案：2月27日(土)、2月28日(日)

第3案：3月6日(土)、3月7日(日)

- ・毎年他4館と重なる。秋は他公共施設や市の文化祭やまつり等行事が多く、12月・4月などの候補も出たが、それぞれ時期的に開催は難しい。
- ・他公民館まつりと重なると何がまずいのか？ → 来場者の分散、出演者の発表が重なる、他公民館に行く機会を失う。(館長)
- 他公民館とも話し合って調整を進める。(館長)

(2) その他

- ・実行委員会の開催曜日を(金)、(土)交互にした成果はどうか。(館長)
- ・(金)、(土)どちらかに固定するより良かったと思う。
- ・単独でのぼり旗を持っているサークルは、フェンスに飾る前に声掛けしてほしい。

以上